

## 玉川ダイナミック・ブレイン・ フォーラムの歴史



玉川ダイナミック・ブレイン・フォーラム Tamagawa Dynamic Brain Forum (DBF) は、塚田稔工学部教授（当時）が国内外の脳研究者に働きかけ、従来の学会とは趣を変えて「脳のダイナミックな活動」の解明を目指して議論する国際フォーラムを開催したことが始まりである。第1回の国際フォーラムは、1996年9月に「The 1st Tamagawa International Forum on Brain」の名のもとに玉川大学学術研究所で開催され、国内の研究者はもとよりアメリカ、ドイツ、中国などから総勢40名ほどが参加して、活発な議論と情報交換がはかられた（写真）。第11回（2009年）までは本学が主要スポンサーとなって世界各地（日本、ドイツ、米国、中国、ハンガリー、ブラジル、ニュージーランド）で開催された。その後は、2007年より隔年開催されている The International Conference on Cognitive Neurodynamics (ICCN) と共催するシンポジウムとして、その歴史は今日まで脈々と受け継がれている（次頁：抄録集の表紙）。この玉川ダイナミック・ブレイン・フォーラムの歴史が、脳科学研究所の設立、21世紀COEプログラムおよびグローバルCOEプログラムの採択につながる原動力の一つとなったのである。

- 第1回 玉川大学（東京） 1996年9月29-30日
- 第2回 Ruhr University (Bochum, Germany)  
1997年10月21-23日
- 第3回 箱根プリンス・レイクサイドアネックス（神奈川） 1998年10月18-20日
- 第4回 Asilomar Conference Grounds (California,

- USA) 1999年9月14-16日
- 第5回 Fragrant Hill Hotel (Beijing, China)  
2000年9月14-17日
- 第6回 Hotel am Münster (Breisach, Germany)  
2001年9月12-14日
- 第7回 Hotel Silvanus (Visegrád, Hungary)  
2002年9月8-11日
- 第8回 Stream Palace Hotel (Ribeirão Preto, Brazil)  
2004年9月19-24日
- 第9回 University of Auckland (Auckland, New Zealand) 2005年11月7-9日
- 第10回 白馬東急ホテル（長野） 2007年3月5-9日
- 第11回 ホテルニューアカオ（静岡） 2009年3月2-4日
- 第12回 Zhejiang University (Hangzhou, China)  
2009年11月15-19日\*
- 第13回 ヒルトン・ニセコヴィレッジ（北海道）  
2011年6月9-13日\*
- 第14回 Hotel El Parador (Carmona, Spain)  
2012年9月3-6日
- 第15回 Sigtuna Foundation (Sigtuna, Sweden)  
2013年6月23-27日\*
- 第16回 Palm Beach Resort & Spa (Sanya, China)  
2015年6月3-7日\*
- 第17回 Hotel Alcázar de la Reina (Carmona, Spain)  
2017年8月1-5日\*

(\* ICCN とのシンポジウムの共催)

(脳科学研究所 磯村宜和)



第1回ダイナミック・ブレイン・フォーラム 左) 塚田稔教授 右) 甘利俊一客員教授 (1996年9月玉川大学)



第1回 (1996年)



第2回 (1997年)



第3回 (1998年)



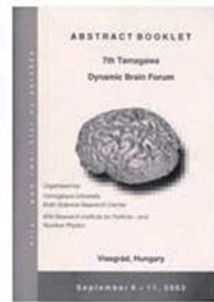
第4回 (1999年)



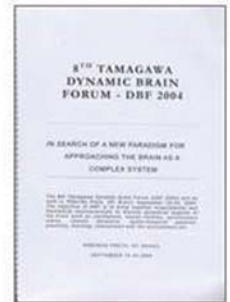
第5回 (2000年)



第6回 (2001年)



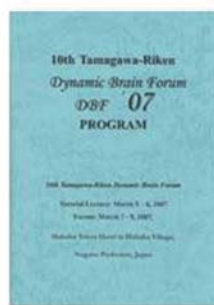
第7回 (2002年)



第8回 (2004年)



第9回 (2005年)



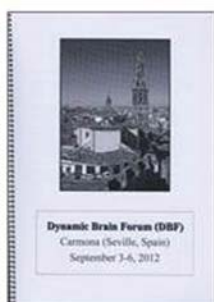
第10回 (2007年)



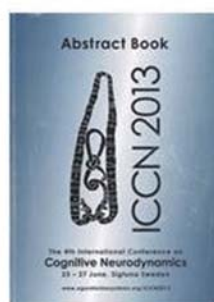
第11回 (2009年)



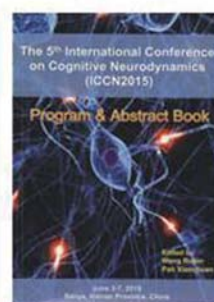
第13回 (2011年)



第14回 (2012年)



第15回 (2013年)



第16回 (2015年)



第17回 (2017年)